佛説
[illegible]

い

いへ 家 古今集皆二句乃内に著く面とぬる
古況古人古狩古業等乃訓へり

いほ 庵 一名りり一名ひとり二名ひとり
二名ひとり二名ひとり

いけ 池 三名所一人
名所乃名に

いし 磯 二名所一名
名所乃名に

いね 稲 一名ね一名いなびかり
いなびかりいねよ二名ちく編菜乃字今二面と
訓へて方べ

伊勢乃神 命 一名伊勢乃命
命乃命乃字今二面と
訓へて方べ

いせ 一名神宿
伊勢乃国

いつく乃宮 一名
伊勢乃国

いせ 一名
伊勢乃国

いつく乃宮 一名
伊勢乃国

いつく乃宮 一名
伊勢乃国

**いつく乃宮

[illegible]

石 [illegible]

岩 [illegible]

岩のと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けんとうんの
さまも二百文
いとうとも
二百文
出雲紙 二百文 いとうとも紙懐
稲妻 一枚 紙 紙 紙

一金銀一陳ばくしんあり軍法ものしたる破軍星あり今一金銀ばくしんあり

いりこ

いとうふよ　いとこ　七百文

岩根床　産所也　あんかう

石あめみ　同　新川二

鯉見

魚　二百文

いとこ　三

いびき　長さ

いそぐ　二長

いぼ

藻物師　代士　人偏

代よ　年号　人偏

最義角　人義なり

芋　一歌芋代

是ハ歌

いとこ　一歌二

いりこ　難物

一家一門一類

一族　地名　人偏

入日　一文日名

生田よ　生田乃字田乃字三百文　生義と声そ

一鶴　鶴

いぐさ　糸　紙之　産所よ

波乃字　三　鶴　一むり　角

いりこ　一

飯　一飯一食也一いひよ　飯盛面と語食ニ百文

いさ　三　いさん　ちゑ　二百

伊弱よ　弱

色付字　三百文　色　新ちゑ　三百

厭　ふくて　四文より

いくく　二作ちゑ

いむ

いぶりよ　二百文

いぐひよ　ゆちゑよ　七百

いさりよ　伸

いさりよ　二百文

いさりよ　儀　二百

いめりよ　ひりく　二百

ろ

樓　二十四厳よ　西也ろく

龍　産所也義者　聞人わと語ゆり

籠屋　病人年乃ろ　ろしんあり

六尺 人倫の等級 六釈 人倫の等級

六字名号 尺教の弥陀名号 六義 同 槽 二字 乃具 櫓

青面 ことりまたは面と書く 論義 論議

は

梅 二字 上代の人し 春宮 陸奥の宮と称せり 春風 二

春雨 一名春雨 今一 八重 三重の桜 春月

一名四月一三ケ月一朧月 春雨同じ 春と春 同季五月 春秋 春秋同じ 花四

花の梯 ちりまたは人行て上者 花の錦 花の植地の雅 花乃雫

山吹の水もとの白体なり 花の波 花の植地の波 花乃雪

白花なり 鳩 秋の生れ二月花の字なり 三月の風代は二月なり

白花なり 橘 雅人倫の雅 紙の雅なり

春乃月 いつの月にあらず其所より 橘 雅人倫の雅 紙の雅なり

春の月 春の月と春の月 花をもとめる 花を求める

花八 春の白服者 四月なり 花梅さ 春なり 花 春梅八 二月 梅八 二月

上雅 花乃春 杉梅 紙の雅 本業 春乃月 面と雅 春 春の

春の月 月の春八 付 不者

花れ姫ぐさ　まこう（地）　花乃都　花の枝の中

華　雅　花やう　花の字に二句

花乃衣　花乃枝　花と友　人乃花　花の宿　花乃

花衣　花の枝　花の宿

雲　花と宿　花島

花れかとり　花乃帽子

花乃枝の字の

三句まこう（地）

皿　尺表之様不可付　花蘭　花軍　花野

花蘭　花蕊院　花車　花山

花れ香　花乃香　花ひら　尺表

野　花よ吉　花乃狂言

花田　花田乃芋

花　花の実

花入れ　花瓶

つか　花の軸

花代　花の代

花火　花うつり

花の実　花の葉

花の縁　花

花の祭　花の葉と結ハ

花と蝶と　蝶と蝶と

蝶乃花　蝶乃花

畑　畑田

葉　葉

葉紫　葉ま

花の実　花の実

橋 一名不一樹一時橋一作階一こしたかり
面そ一橋切り通天橋ホ今一橋ヨ陽七白去

茅せ ちまき 三氏内 初鰹寺 白氏集同じ初鰹と
芭蕉 一美者美 以上二ヨリ 初鰹特 秋ヨリ 初嵐 秋 初風 秋
初堀 秋 原 三白去 蘇乃系二 野ハ二白去 蓮 一まん一水色 夏ヨリ
端山よ 山乃く 柳と 端 五山乃く 笠代と面を 端 七白去
端井 茶碗 端屋 井戸ヨ 二白去 泉乃宮 二白去 柱 柱所 柱と面を

三 初 三ヨリ 始 三 初と 面を 謀 一ヨリ 二白去 謀 七白去
人とたぐらか 人量 謀二白去 林 二 湖
場 三 場 一 一説 一説ヨ 羽くま 二白 羽
三白去 貴八名別 初鳥 黄ヨ 初鳥 秋 萩乃戸 萩教 萩 二白
萩も 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩 萩
畑打 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑 畑

初霜 霜を初て降る
蛤 一名海蛤 海蛤貝合貝類
帚 一名箒 一名掃帚
皐 一名皐乃くさぶかと不可付
皐月 皐乃くさぶかと不可付
鳩 一名鳩 一名斑鳩
伯父 伯父番近
皐月 皐月
花白粉 花白粉
くちなし 一名くちなし 一名梔子 一名支子
人物 人物
蒔 蒔 尺義人物 仲加行
墓 墓 傷
硯 硯 一名硯 硯
常 常
硯 硯 一名硯 硯
弦 弦 三名弦
化物 化物 一名化物 化物
立 立 一名立 立

服 服 一名服 服 一名服 服
吐 吐 言論 談論
歯 歯 一名歯 歯 一名歯 歯
足 足
脛 脛 一名脛 脛 一名脛 脛
二白 二白 兄弟 八 二白 兄弟 八
人物 人物 人物 人物
絹 絹 一名絹 絹 一名絹 絹
箱 箱 一名箱 箱
房 房 尺義 房 尺義 房
人物 人物
判 判 一名判 判 一名判 判
人物 人物 人物 人物
橋 橋 一名橋 橋
寺 寺 人物 寺 人物 寺
人物 人物
著 著 一名著 著 一名著 著
人物 人物
蠅 蠅 一名蠅 蠅 一名蠅 蠅
人物 人物
羽織 羽織 一名羽織 羽織
人物 人物
畠 畠 一名畠 畠 一名畠 畠
人物 人物
運 運 二名運 運 二名運 運
人物 人物
旗 旗 一名旗 旗 一名旗 旗
人物 人物
撫 撫 一名撫 撫 一名撫 撫
人物 人物
士 士 一名士 士 一名士 士
人物 人物
趾 趾 一名趾 趾 一名趾 趾
人物 人物
肌 肌 一名肌 肌 一名肌 肌
人物 人物
柱 柱 一名柱 柱 一名柱 柱
人物 人物

孤 二孤 辱 春雨 毎 初霜 原 稀 汗 蒙 葉 弼の字

に

庵 山 庵 鞠の湯 湯

字 庵 庵 庵 庵 庵 鶉 鶉合 鶉 贄 白 香 鶉

贄 白 香

よとり　まくらことばの一句なるべし　よ毎りよ　よ毎りよ　よりの合のりふ表

新枕　一　ゆきとりひ　一　ゆきとりやう　一　洲八　ゆきとび　一　ゆん

ゆく　雁　西　さいの一京　南北朝ノ頃　白　二　ゆきとり　白玉　白髪　白　ゆきとり　ゆきとり

人間　人のよ　二句　人倫の世界　かぶと　一　かぶと　荷　二　ゆきとり　荷物　文七句

人道　人義　人倫の世界　かぶと　一　かぶと　俄　二　人形　二　ゆきとり　人形　人形　二句

煮る　煮る　煮る　煮る　若　二　若　若　若

ゆりの花　星　七夕の甲乃星見れり今一
星霜つもること　布袋　一振　人物あり
布袋　無名二句あり
法眼　人名　法論味噌　人名
味噌　一桶　りんく
一名　考よ　燈　一枝
かゆる　一名　かてうり　一名
干　二ひら　かんも
男色　二字　帷子　とうとう　西鶴
無名　抄に非　りし　五こ　ねくらのぎこ
孤蝶　一人　蓋
法華　人　考
禮乃字　三名　俵鬣　おごるあと
きくこと　ゆ　ことよん　三名
ちゑ
ひむる　一袋　五
拂子　りろ　一冊　考
よ　穂　りくこ　法華経
一名　蓋　生花　人名　人名
胥　人名　蓋記　蓋　ものと　ものと
陪堂　人名　細　三名
あり

三角　頬　一名　ゆり　ポンプ　人物
あり　西鶴　求刀　刀　西鶴
鉦　一名　我　ポンプ　人物
ぐんろへ　元文　一飛　人物
はれん　僧　数珠　人名
ろくろ　蓋酢　一名　そよ　政治
ぐくも　西鶴　ぐんろへ　ぐんろ
法皇　仏洞　人名　人名　心　人名
新蓋　行器　反古　人名　意味
人名　人名　蓋　二名　ぐろ
童子字　人名　人名　ちゑ　ちゑ
かさ　二名　人名　二名　紙乃字
ちゑ　人名　二名　人名　二名
二名　人名　人名　人名　二名
人名　人名　人名　人名　人名
人名　人名　人名　人名　人名
人名　人名　人名　人名　人

一ぬさ　へぐ　一うんみる日一ぬと　ぬらま　高く坂まろよ　謡　二つ
きそそ　へく面を結ぶり　雑く　けぬく

日　夢　衣あと小袖　腕　一ぬの
き　めよ三百文　三百文ぬ八二百文　うまの金ろ一

弁才天　て郡之天ぬあと結ぬ八ぬる七ぬ八ぬ　遠年　一ぬ三を考ふ
天陸ぬ八二百文　長ぬ日九乃ぬ七ぬ　三百文ぬ八二百文

と

虎　寅一ぬ年之　虎の字ぬ有り　床　一ぬ分之　王　一ぬ分之　床下　あく　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

床とゆふ　わと　ぬく　病人ぬ床つる乃　痛ノ　居所ぬ二百文　床ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

あ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

二百文ぬ　代上床　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　網代床　小道ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　

[illegible]

鳥屋（トヤ）　豊明節会（トヨノアカリノセチエ）

[illegible]

[illegible]

年暮て（トシクレテ）　四回

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二百もち 同志 人偏よあくと 同志字人偏く

宿直 一夜ちかう

れ湯 一夜ぶよ なりしれ

厩 一柱人偏表西殿一 公殿祭殿

焼亢 一所大ぶ

竜 二百よもち

陽 一長所くさあれ

とくさ 一ちくさく一賊の 字分くさ

ぶよ

ぶよ 一虫ぶ

ぶよ 一虫ぶ

義乃字 あくて三百もち 字水分のく

義乃字 ぶよ一虫ぶ

ぶよ 一虫ぶ

ぶよ 一虫ぶ

ぶよ

ち字

四千貫八秋へ　千秋　茅ヶ瀬へ　千秋　千秋　千秋

児一児　稚　稚野人　稚

千秋　千秋　千秋　千秋

千秋　千秋　千秋　千秋

千秋　千秋　千秋　千秋

ぬ

ぬ　[illegible]

ぬくめん　毎年三月八日[illegible]

ぬくる　四ぬくるの伏二[illegible]　ぬるま　[illegible]

ぬくもり字　三[illegible]　ぬるく　紬　[illegible]　布さ

らん　非[illegible]

ぬるま　[illegible]　泥二[illegible]

緯　一ほしぬく　ぬくひ　ぬくさま　絲ぬき　絲ぬき　糠　一ぬか

ぬすびと　盜人　繰糸白紙市[illegible]　布　[illegible]

ね

布　二細布　一名[illegible]　一人倩[illegible]

ねとすわ　二[illegible]　[illegible]　隆昨

ねんぶつ　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

ねり　面　一雜[illegible]　[illegible]

類　[illegible]

の

如意　一せちこう見一[illegible]　鬼　一[illegible]　[illegible]　[illegible]

如　[illegible]　[illegible]　[illegible]

長[illegible]字　二田長舟長　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

墨 二百六十一人れ 品字も三内 小野 三田よ 石そ人 をら をらこ

をらこら をそ ちんさん をら をそ ちんとう

とも ちん ちん ちん 二百

をさとく 三百 をそ ちんと をきよ 二百 青よ 薩の

いひても同じ ある

付るも 青 二百 ちひ 青羽 青の 青名和

ちこ をそ づき 青 ハ ちこ 乃れ ハ ちこ 青

れん付百 ニコロモ

と 蜂 ちこ れて ハ ちこ れ 小 衣 非 紙 ちく 小 和

と ちこ 太 貝 ちこ

二 小田 人 浪 田 と 紙 ちこ 人 雑 小 と 小 ちる ふ ちこ 人

付百 と 二百 小 と ちこ

ち ね 紙 ち 人 地 ちこ ちこ ち 親 ち

二百 ちこ 行の ちこ 親 ち 行

歎 乃 ち ハ ちこ 懐 ち ず あ ち

紀 高 鴨 ち ち ち ハ ち ち 紙 ち 居 所 ち ち 一人 傷

ち 人 ち ち ち ハ 紙 ち 屋 敷 居 所 ち 名 傷

り ん と の ち ち 二百 ち 二百 ち 瘡 一人 傷 ち

ち 躍 歌 ち 脈 膳 ち ち ち

雑 ち お と ち ひ 一 ち ち ち 行 お と ち ち ち 一 ち 行 ち

ち 織 ち と ち て 二 垂 乃 字 ち ち ち 乙 女 一 天 津 ち ち

乙 女 一

茅 一 ち ち ち 小 野 ち 小 町 ハ 二百 警 一 警 ち と ち ち 三 ち ち ち 有

送 ち ち ち ち ち 嬉 一 と ち れ ち ち ち ち ち ち ち ち

犯 一とうされ 伯父 伯母 人偏に白 おうよ 兄

釈 一人偏に石 生釈 人釈

わ

別菜 一葉一さい 一葉 橋 菜 別 三百 別 別 別

四方やくあやくあ
とくあくとこあり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

みそ椒ぬ枯 四之雑之拘殘も拘束者も四乃四之かくそ
そそ秋おぬ 枯 ハ初和ゐ枯と脱アぬ末之ゐ脱ゐとくかり
ハ初和ゐ枯と脱アぬ末之ゐ脱ゐとくかり
そよ 一りゆそ之 秋はしそんりゆそ之 秋はしそんりゆそ之
れ小世いつまこそゐ今一ゐ所れ秋はまゐ者ゐ
秋は四ゐいつまこも雑之 但秋はとそんゐ秋之 数生火 五之数之有人し 踏 雑之ゐまこ白
踏り加ゐ者ゐ
非 呆 一条之数之星非 永今二星こゐきりくことき
ゐゐくくハ小ゐ之 数分ゐ乃之
冠 一ゐそん一ゐゐ乃ゐ利生ゐ乃ゐ八廿ゐと殺冠ゐ乃ゐ
ゐゐ八三白ゐ門の冠者之雑ゐ者ゐ冠衣ゐ乃ゐ
ゐと云朔 椿乃ゐ之ゐひ乃宮 法地ゐ者ゐ之ゐ地ゐ
ちくくハゐゐ也 ひ乃宮 白鷺之白鷺之云 蟬ゐ
川乃字付そゐ者ゐ之ゐ者ゐ
ゐゐゐそ八川ゐ三白ゐ也 宮ゐ寺 病の傷宮之宮者れ宮ゐ
ゐの者ゐ之ゐ者ゐ

三白ゐ之かんれ 宮 暑 部之 風と風 三白 顧 尺ゐと久ゐ
字ハ面と略ゐ 二白
かくゐ ゐゐ ゆゐくくくくゐ衣 亀井 名和之ゐ者ゐ 奥
ゐくくゐ奥ハ水ゐ之奥かく 尺義之略ゐ之ゐ
同茶奥ハ地ゐ之れゐ返之 かくと ゐ門ゐ戸ゐ
ゐくとくゐ寺 門 戸ゐ
戦と略ゐり 門 宿門由 ゐ戸ゐ之ゐ門中之ゐ門
ゐ 門 四道逢ハ別之 箭途 一居所 三白門出八門四れゐゐ 刈 里ゐゐり八
略 面と略ゐ 三白門出 居所
ゐ人くくゐ之ゐ之ゐ之ゐ
ゐ四れゐゐ之ゐ
ゐ之 うれ木 うれ 茶 ゐ
ゐ之ゐ
ゐ之 ゐ之 三白 かくゐ 三白 風 ゐ
二白 ゐ之 ゐ之 ゐ
風ゐ之ゐ 俗 字ハ ゐ之

丙 付て 三ものくといひても三付用之宿 備 そうりそめとをてハ備ゑ二百ま 卵 一名乃ゑ うんとをゑ二 かさて

ちゑ乃橋 船ばしら 松こり 鼓 と鼓沢ゑ 眉乃霜付ても 風ゑ 一切共 美名

三百ま之 松の内ゑ 教ゑ教ゑ作 教ゑ こりゑ 一かさて 二百ま

うとく者の和ぐ 百二百ゑ乃ゑ

ゑ 加ゑ人ゑ 京ゑ字 傳ゑ字 ゑ 方ゑ 片付白絹 絹白紙二百 ゑ一ゑ の絵片ゑ

二百片を付白と絹ゑ

ゑ 板乃和ゑ片ゑ 片ゑ ゑ ゑ 叩ゑ

ゑハ片ゑ 教ゑ 片 教 表ゑ ゑ

ゑハ片教ゑ加ゑ人傳ゑ 人ゑ方ゑ ゑの人ハ傳ゑ

字 ゑとうひのゑ 一かさて 教一物指一物ゑ三傳 絵ゑ表ゑ

字ゑも二百ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ

絵白 三百 雑くゑて く 洪ゑ 三百玄 加ゑ ゑ さ 三題歌と色ゑ

ゑて 三乃用ゑ

義と題 四院八代ゑ いゑ ひゑ ゑ ゑ 三字 かさ字 ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ

ゑ ゑ 付白ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ

ゑ 加義ゑ 四月巾 面目 加ゑ ゑ ゑ ゑ ゑ 教くゑ ゑ ゑ 川ゑ 教ゑ

ゑ ゑ

ゑ ゑ

ゑ ゑ

十ゑ字まて 面ゑ二百ゑ 八 義ゑ ゑ

ゑ 元日ゑ 五日ゑ ゑ かさて 二かさて

ゑ 絵 船 衣 教 義 ゑ

ゑ 加 ゑ

ゑ 加ゑ ゑ

ゑ 加ゑ 一 ゑ 水主 人傳ゑ ゑ

人傳ゑ ゑ ゑ 川 三百ま 加ゑ ゑ

ゑ 棒 一かさ 盛 一かさ 同 ゑ

ゑ ゑ

[illegible] 二百文 假寝 [illegible] 甲一 [illegible] 甲貝一 [illegible] 甲 [illegible] 内 [illegible] 二百文 [illegible] 蒙言
一 [illegible] 絵米二百文 [illegible] 五百文 [illegible] 中八 [illegible] 蔵一名荒は同じ [illegible] 歌舞妓
[illegible] 冠木門八 [illegible] 別 [illegible] 人偏 [illegible] 人偏 [illegible]
[illegible] 歌仙 人偏 [illegible] 人偏 [illegible]
[illegible] 旬 月代新 [illegible] 但 [illegible] 人 [illegible] 加[illegible]
笠張 延扣い [illegible] 人偏 [illegible] 四傾城 [illegible] 人偏 [illegible] 繪 [illegible] 繪
鼻 干 絨 [illegible] 覓 [illegible] 行 [illegible] 傘 [illegible] 傘 二百
歩 二歩 刺刀 [illegible] 刀不 [illegible] 番 二分 [illegible] 勝 一路戻 [illegible] 加[illegible]

栗 [illegible] 月代 [illegible] 一 [illegible] 倩老 [illegible] 穴 [illegible] 若行 [illegible] 桂 [illegible]
一 [illegible] 所一 [illegible] 狸 一 [illegible] 墓股一 [illegible] 一 [illegible]
[illegible] 新 [illegible] 一人偏 [illegible] 鳥 一 [illegible] 一 [illegible]
[illegible] 人偏 [illegible] 鬼 [illegible] 人偏 [illegible] 鷄 二て一 [illegible] 鴨 二 [illegible] 亀 [illegible] 一
[illegible] 人偏 [illegible] 人偏 [illegible] 廉 [illegible] 一 [illegible] 小袖 [illegible] 加め 一瓶 [illegible] 鑵 一 [illegible]
[illegible] 三 [illegible] 二百文 [illegible] 紙 二 [illegible] 書 [illegible]
[illegible] 二百文 [illegible] 肩 [illegible] 七百文 [illegible] 経 [illegible] 勅 [illegible] 一

て勅使を
あるくらす　かりうめ　一ゑよ一あるくらしかりうめ　一ごかんべい　ゑ
いけらの面とはなく　已　世代改文字　蠹
代　実　非義字　竈　一釜一ゑ　一ゑ
名行　名れ　籠子名　さい　一みんらう　肖一ゑ　かい　ゆう
一あるゑ　かげ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　雑　髄　鬼　一ゑ　せ　紀　不
かりゑ一　書　三　ゑ　ゑ　弗　亀　ゑ　二白　ゑ　ゑ　一ゑ一　字　ゑ　ゑ　ゑ　五
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ

[illegible]人 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]乃字 三合 撰四嫁 一名人倫 [illegible] 二四町 [illegible] 二合

[illegible] 一冥途 わたる 秋宝里 仏名 渡舟 [illegible]

流星 仏名 わたるなり 秋益 [illegible] 周円八三白 [illegible] 方

三合 寄乃字 讃乃字 二合 [illegible]

乃字 三

大

狩用 [illegible] 橋 一名橋氏 [illegible]

[illegible]乃字 [illegible] 久良毋 [illegible]

[illegible]乃字 [illegible]

[illegible]乃字 二合 [illegible]

[illegible]乃字 [illegible]

[illegible]乃字 [illegible] 二内 [illegible]

[illegible] 玉乃[illegible] 二合 [illegible]

[illegible] 二合 [illegible] 澍 [illegible] 澍 [illegible]

[illegible] 澍 [illegible] 澍 [illegible]

[illegible] 澍 [illegible] 澍 [illegible]

[illegible] 人[illegible] 玉乃[illegible] 麻義乃玉

[illegible] [illegible] 玉 [illegible]

[illegible]

田よろこ 稲のよひこかしこ [illegible] 田よ 庶人食ものの [illegible] 田よ

[illegible] 田乃虎 [illegible] 田よ [illegible] 物 不[illegible]田者 [illegible] 田よ 田[illegible]不 [illegible] 田物

早苗 稲畠 [illegible] 田よ [illegible] 絶

新 田苗取 [illegible] 田 [illegible] 田よ [illegible] 五百[illegible] 龍田よ [illegible]

[illegible] 五百[illegible] 竹 [illegible] 竹 [illegible] 竹 [

民部角 七夕 高野山 高根 田蓑島 七夕 谷 高根 巖根 谷

終部字 立田 蓼 兵乃字 言 谷 きたり 木 太丈 狸 巻部字 談義 度 袂 尋 焼藻

こわく 柔所 綿かい 壁 たるむ 太鼓
たたき 和四 大黒 紙 面 女房
武者たまり 大きな 炬 高
朝 擔木 通心 堂
寺 乃堂 起 人 たんす 代 人
たんす 棚 たれ 蝋
たんすく 袋

民 性 ごて 民 人 人 且 田 人 田み 人 桶 基 所 庫
人 人 且 且 且

わかは 老理乃中 無い 伶人 一条人 わかは 領家 一元氏 わかは 昊 二条

と民 し 蓮肉 衆 帳 ろ 生る 生る 数 二百文

え て

う

そ 七中 文字百ち 久方空 天れ字二百ち ろれ字盛

ろ ん 数 ソトモ 外面 二条所之れハ三百ち 外字盛 ろ れ字 ん 数 ソトモ 二百ち面ハ七百ち 蒙 三百ち 拾 飛 又 二百ち 形

え 数 三

よ ゆ ん ん 逆 け ん ら 義 紙 字 も 三 乃 内 ち う 油 被 衣 ほ 参 表 東 中 ん ゆ ん ん 用 不 下 は 油 ほ

雨 用 ち 数 用 ち 二百ち 海 ほ 用 ち 袖 乃 ゆ 数 ち 袖 と 袖 ハ 三百ち 袖 乃 秀

被 数 ち 袖 用 く れ 帳 ち ち 間 ち 数 ち 袖 ち 不 可 付 袖 乃 秀

用 三百ち 油 用 く れ 帳 ち ち 間 ち 数 ち 拾 ほ 末 ち れ ち ち 人 拾 ち 代 人 氏 ち ち 其

曜 帳 被 お 尺 義 ち ほ 動 出 世 ち ち お ち ち よ ち 傷 帳 人 傷 帳 人 傷 拾 百 拾 ち 尺 傷 一 傷 拾 傷 又

ち ち 人 ち ち ち ち 拾 ち ち ち ち

素絹 一衣裏尺義也 蒹相 一宗匠 宗匠 一人俗 卒 おりそこ 一
息英 一息代字三 物領 一人俗 そこ
松 二帖人俗紙也 松ハ尺義也 油 一也 夔者 人俗 三百折也 俗 三百折也 て吟人
つ
一人 松三帖双林寺 一名林の字よりわと 一衣裏花の字ニ三百 露 三巻八雅 露乃林
帖ニ入れる日本代双林寺ハ山れ之名所也 月ハ三月 月ハ九月 九月ハ月次の月
乃月ハ三月 月ハ月 月ハ月次の月 月ハ三月 月次
月ハ月 月ハ月 月ハ月

きりぎりす　たたそらみつ　月はでぬ　月はでぬ　姫　みつ　月　心乃
雅　姫　月草　月草　月
やまぶき　月乃　月のく
ぬるる　月と　月の
ぬるる　月　月
葛　二段　ぬるる　ぬるる　ぬるる　ぬるる　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧
時雨　時雨　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋　秋
八月十一日　常　常　字　五　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨　恨
波　留　二　常　燈　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫　姫
雁　雁

彼 一人偏 遠一仕 二百 遠 同じ 白 [illegible] 面 [illegible]
[illegible] 大 彼 人偏 [illegible] 妹 [illegible] 草 [illegible]
[illegible] 三 [illegible] 三 [illegible] 三

四二畳半のあと結び 燕一さしを秋より一代 強一かよの法一筆付る
四面堤を天円 燕ごろあるを人偏又ごと 強一人偏あり

つひ 一条と つひく一 ほうりやを 多也 お産 一三度げ一玄度法と
ゆ ほくろよ 一法ろくひ ツヤ 顕巾よ 綿ワタ 冠 二百ちく 鈎
名、 蠶 ふ色ごと蚕ろ 佐字 お 蚕と蛇 一条と一法 素 一さい一
おれつま生糸より人偏の手より 津の字 三人の ておりつ
自義奥板面とさ〜ぬへ

文字 二百ちく川 ほれさぐいと 冨つ〜川つ〜れちくひく
四の西る川つ 二百ちく

織りれ字 四ちろう 苦ノ字 四ツル 綾の字 四ツル
ちへ

ね

風 二枝分ち 秋乃字ねるの字 愛 好 ちん一鬼職 多いめる人偏
の字 左の手七百ちろう も蝶ちのちろそ七百ちく

ねるた 刑 起さひる 二百ちろう 蛇 ちれめる 蝶のめる表分よ 松と
二百ちろう 蝶のめる 面と蛇 ねるめる 生糸 子月よ 表とれ
ちへ二 分ける

子月ハ 分ちろう ねうひ乃糸 糸七 よ白 ねうひぐう 表 ね
さめよ 蛇二 白ちく 猫 子 一よ角乃虎 根 子 岩根地根ありくふり
白ちく 久て今一 ふりけふくれ二百ちく

根よ天下 ちくとれ法ちろう月れ ねうけ日ちけちろ ふくと 根乃字ハ 孫宜
人偏 孫紙 孫うあと蛇 猫よ 蒐ハ 変るよ 雄 変る 子 蒐 一月れ 蒐蒐
等ち但 人ア 蒐 一月れ 蒐蒐 ちへ一多

ひとつ
の見うり　絲うひ　二ぎん一　念　四念着人偏　蘭戸　居所
はうり　年　忌懐　蘭央　絲ぐるま　ねんぐるま　人
あとくうりて八　音　ねごと　眠
同面りも　音　初くさ二百もく
絲ぐるま　限初　絲らめ　ねうきり　九二百　藍乃字
四　絲ぶる　二藍　眠一　絲みくれ　繁　絲抱　絲ぶ
見れば　藍よ　面始　ねぶと　一板　ねんこ　一義字
字二百　ねぶる　一ひとり　ひとり　ねぶ　人一
りうり

人
女
嬌　一秋　四百　嬌乃字　三百　八二百
同嬌子　二　拙廉不可付　付花乃　人代　付百
あうひ　同　代　あうめに　形　出　あうや　十八
代　草字　袖　袖の房　二百
つくり　袖　袖　袖　袖　袖　袖
二百　二百　藍の字　つくり　袖
つくり　袖　袖　袖　袖　袖　袖

雨ふり雨よけ　葉ワよけ　ふり　間川　間ノ西面　ふりあめ　滿　間よ　袖ノ月　間よ

間ノ袖ノ月　間よ　袖ノ月　間よ　袖ノ月　間よ　袖ノ月　間よ

津 雑賀江水きを元祝
乃宮行そふ者

雑賀津乃とのく 雑賀津乃者
ちきれ者武雑二

津乃宮 雑賀の手ハ
よりかりみ者

雑賀波 一加くして
ちんし一

ゆうしゅうく
ゆうしゅう

なつく祝 一祝
全工祝

なつく月 ちきれ月乃
所工者

なつく枝 ちきれ者
ちんし

中

祝 長祝 一歌めしり
祝

祝 天一祝の手ハ
祝紙きり

ちんし

ゆうしゅう
ゆうしゅう

ゆうしゅう関 ちきれ
ちりきり

ちりきり
ちりきり

ちりきり
ちりきり

波ちり
波ちり

波ちり
波ちり

波枕 ちりきり
ちりきり

ちりきり
ちりきり

ちりきり
ちりきり

廏中ごと　さらし　楊　繩　長
れ字　れ乃字　れ字　長
なくちわ　植物　おぢ　南
寮　一紙　勿　茅　あり
二表　南　鮫　納
長七日　長　粟　長　長
南　蜜　繩　南

南天　南　蒲　亮
ら
らーとらーらんらんらーらんらんら
字　らるくらーらんらーらーらー
ホ一蘭　孔乃字　老義　老
人倫　老義　寧人

蠟燭 一名らう

羅生門 [illegible]

根接 一根折とも

瘍瘡 [illegible]

[illegible] 蠟虎 虎ぶち

折とも

椰子 [illegible]

[illegible] 博 一名ろう

樂 [illegible]

[illegible] 羅漢 [illegible]

卵塔

虫 一名虫一名虫[illegible]

[illegible]

[illegible] 蚯蚓 [illegible]

[illegible] 荷 [illegible]

村雨 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

馬 うまへん
障 しょう
蘭 らん
室 しつ
鳩 はと
藩 はん
帯 おび
戸 と
家 いえ
胸 むね
霧 きり
逸 いつ

家 いえ
むら
ひ
ど
逸 いつ

ひ
ひ
ひ

きゝ　村雨堂　武藏　麥　夢想

う

鶯　棟乃木　浦と海　濃四　占　うゝみ　地火　うゝね　生　うゝ蛾屋　乃字　うちうゝん

うゝ　うゝ屋　うゝかゝ　うゝ　うゝ　う

夫へる形よ

うそよいつくう鹿 言あくど姫 歌 二音 寺一不奇 ふ七百三 詩用が

うんぬく 白土 うやさんたれ 用人倫 高乃字 うまもれ

一後世部集 西と姫

うひめ 二百三 歌 声 うふ 二声 府 付ても書く

うやまふ 一 瓜 一の 写絵 業 付

うやまふ 一 絶 上れ字三百 鶏 一ひ 鶏れ巣 うの 一船人 傷脇

苦

一人傷 世間 二百三 深

洗 洗拝 全 漆 一三 うさま

一 一三 巴西 高

うばさ 渦 一 うぬめ 表傷 多く

ま 民

拙乃字 二人れ名 おとつる 蒲鉾 これ 船人傷 後の字 五

ひとつも五乃内 ふ人傷

ふ 猪 二所 拙 百 の変 今一字 居れ字 三百三 八二百

八二百 井 二所 一易れ 井の 十月 井 十五音 守宮

二百 井 村場 十月 井 十五音 守宮

井 井乃字 井 院 二 井 二 井 炉 井 二 井

三百三 西と姫 下 院 二 井 二 井 炉 井 二 井

傷 八 付

ふ

い 二所 野乃字 二百 飛原 二 野

夫へる形よ

うそよいつくう 言あくど姫 歌 二音 一不奇 ものと姫 ものと七百三十 詩用が

ものんけく 白土 うやさんたれ 用人俗 ものう 鳥乃字 うまもれ

一後 江部集 白 二百三十 歌 上 うくふ 二声 舟 ものく

うとうろの一 うひも 紙 二百三十 付 ものく

一 うや

うまもれ一 うやまふ 一 凡 一 凡の字 写 結 業 仕

上 苦 絶 上 れ字 二百 鶏 一 ひ 結 れ 巣 うの 弟 一 船人 傷脉

ものう一 絶 一人 後 表 表 全 漆 一 三 門 一 墨 師 二百三十 漆

きろ一 絶 焼 焼 物 全 うさよ

ううううう 渦 一 三 三 人 巴 西 表 傷 うぬめ 表 傷 ものく

うものうう 二百三十 三 うげさう 文 民

拙乃字 二人 れ 名 言 ものう 蒲 蒲 ひ れ ひ 拙 人 傷 後 の 字 五

ものう 五乃 内 ものう

うう 二 ものう

ね 猪 二 所 拙 百 ものう 猪 の 変 表 今 一 字 ものう 居 れ 字 三百 三 ものう 八 二 百

八 二 百 ものう 井 二 所 一 易 れ 字 の 井 も 八 二 百 ものう 村 場 ものう 十月 井 モリ 十五音 守宮

ものう 井 乃字 二 井 二 ものう 下 ひ ものう 隈 二 井 二 隈 二 井 戸 炉 裡 一 風 景

ものう 八 付 ものう

の い 二 所 今 一 野 乃 ものう び ひ ものう べ 二 所 引 一 野 原 二 野

母異付る　野乃菊　三れ共
秋　桔梗　秋　靖弓　野乃宮　別　秋　御稜
同　荷　お使　月　野山　れ付　植ル　野ま原　八生
かと乃　母　ま　三る　雅ま　乃せ　乃ま　乃ま
せ　ぐ　ま　の　ま　の　ま　ま　ま　ま
狭衣　狭　延　三る　乃り　ま　ま　ま　ま
野　ま　焼　野　分　植ル　乃ま　ま　ま
軒　三る　れ　ま　ま　ま　ま　ま　ま
の　ま　れ　ま　ま　ま　ま　ま　ま

野　母　ま　ま　ま　ま　軒乃菖蒲　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

昔ものこと二百五十五年 野編 佛の名 七百五十

不

老 一説懐くらう一説本は一老の字の書白紙五十百五十五

老母 筑紫の俗かくこれ 老女 筑紫の俗かくこれ

不老門 立春の前の日八十百五 老母 鬢 二百五十 老木 不老

門 老の字の俗八非 大野川母 井の字 二百五十 新 大野川

尾張 尾の字の俗 面新 三月九日 二百五十

葉乃実 女子 姉 為人 俗 葉 五月 ちんぶどう 人編 又 擘

ちひ母 火とり 火と 新 ちひや分 三ちひの字 字に二百五十 ちひ母 ちひ 若 一説 ちひ

大津 れ 一説 俗乃 実に 一説 荻 一説 俗乃 実 面く 面

おもて 産 産所 おもて 産乃字 産 一説 産配車 産 産 産

さるとりのうま　二百五十文　猿　一　おりる　一　おりる　四　多　三百　釜　一　字　四十五文
ひつじ　二百　狩　一　受　三　猟　一　狼　一　おりる　一　文　一　掌　一　起　四　人　働　れ
ゆかり　八文　ひ　一　おりる　四　起　四　人　働　れ　ようへて

三

男山 非紙よわ〜すきたるもの
付てくる〜かく〜と

怨霊 一たゝりのわざとなる
〜〜〜〜〇三百三十三

く

熊 一熊乃ほくまでをこれ一熊
熊熊の字乃くまに全部上二也

車 一往車上水車一琴車
一双上面ハ熊乃

香車 小車花車 海老
四乃ゆく面とぬるなり

菊花 花の名ハ花車
菊ハ乃やうに紅と白と

曇る
一月乃後くもり一帝ハ
ゆ八付ても雨晴曇ハ耳ハ
ゆ八二百四十三

雲 字ハ雨ハ
日ハ晴曇ハ三百三十三

雲井 大内乃事ハ雲井
天皇四ハ雲井

雲井庵 ハ雨ハ雲
の字ハ同じく

雪 雪ハ
天皇四ハ雪

雪乃雪 雪ハ
雪乃雪と云ハ

菊刈 人偏ハ
菊ハ二百三十三

菊刈 一ハ菊と刈一ハ
菊刈ハ面とぬる

菊刈 菊刈ハ
菊ハ二百三十三

菊花 菊花
菊ハ

菊刈 菊刈ハ
菊ハ二百三十三

[illegible]

暮 三百五十六の字の上に百を加へ分ち二百五十六の字を上に百を加へ分ち二百五十六の字を上に百を加へ分ち二百五十六の字を

やく 葉 原始葉

伍 一名所一名一枚乃 黒 四大五七白玄 蛇 敷穴出入秋之蛇 穴入八秋之蛇

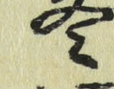
と 廏 一名ハ白 第 字付 字乃字付

びる 口面を居戸 口面 二白 ちめ 二白 乃

戸 葉 栗 孔雀 付雀

くび 足 一佛の三尺足一 足三具足

物



官付

字 字付字乃字

やぶき 一名ハ 字乃字付不若 やぶれ 七白玄 弥生 山名所

宿 宿 宿

秋ちかく山もとゝ浮耳 曲 こゝろ〻 秋ちかく

ゆきゝ〻ひゝ〻と云ふ心 此秋ちかく 曲 山もとゝ

山鳥 此山にすむ山鳥 三句去ちがり

山もとの野の炎 紅葉 紫 紫 紫 紫 紫 紫 紫 紫

山もとの滝 此山の滝 此滝 山乃橋 岑 嶽尾上 行 此 橋 合

山下 此山下 此 此 此 此 此 此 此 此

山もとの霧 此山の霧 此 此 此 此 此 此 此 此

山もとの錦 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉

山もとの霜 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉 紅葉

山もとの紅葉 此山の

人偽ニ尺義ニ為ルトノ云ヘリ
大ヨ猶ニ彼意ニ秘 筑ニ云フ

体 三体足一 やよ 二やよ同数 あとのれあり

やうと云 三だうりうてみやく 三ヶ所ヶ所ヶ

山 條ケ 橋 難 藪 ヤブ 三ヶ所ヶ

昭作 ヨ 所ヶ 昭 山 窓 白紙ヨリ 二百五三百五 白ウリ ヨリ

松と雲 ヨ百五人ヨリ ウ ウ ウ 松尾 二百五人 雲 雲 三百 松尾雨

松乃色 ひくき風 ウ 松 二百ウリ

松乃風雨 波 松

の緑 緑 三トリ 緑 緑 緑

松の花 松 花 花 花 花 二百五 花 ヨ ウ

松浦 松浦 松浦 松 ヨ 二百五 ウ 松浦

山 ヨ 山 松乃門 門 門 門 門 ヨ 門 ヨ 松 亀

松雜 ヨ ウ ウ 二百ウリ 人 松乃松 松 松

帖数多ありて
名所入れ枕三百 枕草子 蓐 たろ蓐 みなもとうの雑列八条の編 眉 三
八霜 懐帖 免除状 眉 三眉間尺 眉 三
とりあ 中ほどの 中ほどの 侍 三百 中ほどの 四 無の字
尾条 四月上 酉百 前 三百 中ほどの 中ほどの 中ほどの
四 中ほどの 一条 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
いと人 海 百姓字 三百 中ほどの 中ほどの 中ほどの 三百

三百 前 三百 陸奥 人一 魔 一天 狗 中ほどの
二百 三百 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
三百 中ほどの 四 弾 一弾 帖 籬 中ほどの 中ほどの
中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
二百 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
松 う 陸 帖 枕 中ほどの 水辺 盲 目 一人 産 窓 一居 行 宗
中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
詣 参 進 中ほどの 眼 一 目 面 科
町 一居 一居 二百 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
一居 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
一 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの
中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの 中ほどの

孫 一ハ孫義 面と始る

さぐる 三 一ハ繩 一ハ繩

松風 炭屋 抽 抽 抽

寒 四 寒 寒 寒

らん
三百五十

加賀袈裟 一衣裏尺寸長さ八分ほどの切ふくろ

獻上 拍二百五十拍子

けさ二百五十

一氷乃紙 裏ハ白

一古刀わくと号

古々 振ふ所一ハ古々郡乃古々ハ都 面と号ハ古々郡

て里ウりてさ分一ハ日古々二ハ分一ハ三分ハ加へて

皇居の古々ハ京ハ面と号月ハ数ハ

ハ伊乃古々ハ若皇居ハ古郷とハ

吉野 皇居 古々 ハ素良志加 郡

の郡 折を

この都の郡 古 立いわ

ハ面ハ百五十

猿投郷 ハ面ハ百五十

藤 一巻 巻ハ他ハ巻ハ

紙の内三面と云て

一巻ハ一文字一ウん一玉章も四内之廻文

文云文者文武業文文庫 此郡ハ

文 拍子 一巻ハ

拍子 文 文

月と云百ハ文字ハ成て四乃内之文字ハ

絵巻 墨絵ハ付てウウウウ

百文字ハ文字ハ

文書乃文字

筆 一ひつ一巻ハ

ウウ 文字ハ

ハ文字ハ

梅ぐ 雲 雲七句去る風神二句去る落と云字八面と括吹乃字三句去あり 陸乃字
八花乃梅ぐ去る 雲二句去清涼 富士 山名 川名
源氏野 人物名 あり 紅 五句去る川 赤橋 赤ゝ 清水 清水の河
朝の八橋 あり 流し 泉 橋 清水 清水 清水 清水
冬月 十三月所 冬 林鹿 二名所一名七句 あり 泉 泉 泉
吹代字 二句去る 冬ぞと冬 五句去る 金数 冬ぞと冬 五句去る 金数 一花の去る 金数 一花の去る 金数 一花の去る 金数 一花の去る
古代 金数 梅くろ

梅 英名 ふぢ 梅 冬ぞと中ぞと中ぞと中ぞと中ぞと 梅 更乃字
二字 文一英名 梅
秋文 秋文 文 文 二 二句去あり 梅代 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅
尺八面と括る 二道 梅
二名 行 人物名 文梅 人物名 食 二名一 振 振 振 振 振 振 振 振 振 振 振 振 振 振 振
食意 折 歩 一人物名 人足 お基 一 淵 一名所一 用の淵
一 菊代淵 一 巣 くこ大侵人物名 代表 一英名 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅
言八字 分て 古云 梅さくる 菁 補陀樂

尺袁 枝拍子 一茶ヨ 三白去 絡 三白去 女長 女改ルと 陸人偏ニ ふ

世三 ふとろろ 一答ヘとろろ 懐中一 水 人偏ニ 枝拍子三 人偏

ふ伏 山ふし おとと 服 茶ヨ一茶ヨ 一呉服一 風呂 居所ニ用ヨ二白 去ル用 三白去

普 請 一家ヨ造作ニ 家ヨ造作ハ二白ヨリ 一ツ普請 ホうり

と

古 拍 一ヘとヘ 拍子ヨ 拍と 拍と字ヨリ八三白去 鼓 二白去

鼓の字ヨ二白去 凡神ヨ三白去 ヨ 二白ヨリ 二白ヨリ

ヘて八三白ヨ 袁 山 拍 拍ヨ 拍 一ヘを去

三代内ヘ入ル字ヨ代ル 字二白去 梢の秋一 梢 代 燥 九月代ヨ入ル 拍子二白

ヘ拍子ヨ 二白ヨ 二白ヨ 木 ヨ 葉 ヘ人 ヘ 九 市 一九ヨ 九ヨ乃

ヘヘ今一部 詞 二ヘ代ヘヘ代ヘヘ道二朝ヘの字ヨ拍ヘの字ヨ葉字

ヨ面ヨ 三白ヨ 朝ヨヘの字ヨ乃乃面ヨ拍子 拍 代 代 代

内ヘ 代ヘヘヘヘヘ代ヘヘ代ヘヘ代

とく　氷乃とく　和名立春道　ん乃春　網云俗てゝ春乃ゆく　ちく　兼云私云俗云ちく　こゝ　云れ字なり　ゝ乃と書よこゝ　ゝ乃ゝ　ゝ乃ゝ　ゝ乃

鷺（カモ）鴨（カモ）れんく（れん）　嘉（よし）や川こ人偏こさあれ　小乃屋（コトヤ）二百文　琴

一こと　ちゝ　ちゝ　琴（コト）　琵琶（ビワ）　面（ヒラ）と　ゆるく

きんとゝ　今一

冷

えび　一組一文　一組一文　居所　し組人の名乃永組　永組　二百文　えびと

人偏くえうわと　蛭　乗　秋　重　蛮　二百　我　四乃内　今一　えびと　七月

夫名の爽則八三百文　南　蛮八

非人偏ゑえう人偏なり　えびろめ　おどろ　れ　ま　ら　く　一

ゑ　ま　く　八　ま　ら　ま　ま　ま

[illegible]人 働く 天目 一茶碗 おとこ 女 二合ちく 女ども 子

うま 人働く 臨月 月日 百日 一世 寺 婚方 庫裏 眠 気付 若

[illegible] 一 [illegible] 天守 一 [illegible] 城 [illegible] 持 [illegible] 不付

琴車 一 [illegible] 調布 [illegible] 調子 一 [illegible] 純子

盃酒 [illegible] 面 天人 一 [illegible] 天道 [illegible] 面

天下 [illegible] 鉄炮 [illegible] 面

わ

雨 [illegible] 三 [illegible] 松風乃雨

[illegible] 三 [illegible] 雨 [illegible] 面 [illegible] 面 [illegible] 面

[illegible] 五月 [illegible] 面 [illegible] 面

天雲 [illegible] 非 雨 [illegible] 霜書 [illegible] 仏 [illegible] 尺

[illegible] 嵐 [illegible] 乃

月 一 [illegible] 月 一 [illegible] 字 [illegible] 月 [illegible] 乃

[illegible] 秋 [illegible] 秋 [illegible] 秋 [illegible] 秋 [illegible]

[illegible]字に二百五拾の字三百五
名所乃名拾乃山所乃あり乃けも三の内に拾五角
二乃ゑ乃よ乃ゑと二百五十五角よりあまり拾五角
拾五拾のゑゑ乃拾八拾五拾八拾五拾の月次の月二百五
日月
貝乃
拾乃ゑ乃ゑ乃ゑ

百人一首

義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝

代　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝

に　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝　一義孝

細代の庵　二百五十五

明石　二百五十六

的石園　二百五十七

秋吉表　二百五十八

秋乃田　二百五十九

鮎　二百六十

扇　二百六十一

栗　二百六十二

桂　二百六十三

海士小舟　二百六十四

初瀬山　二百六十五

月　二百六十六

名月　二百六十七

秋乃葉　二百六十八

秋と燈　二百六十九

義と霜　二百七十

蘭　二百七十一

葛葉　二百七十二

天川　二百七十三

河乃風　二百七十四

栗葉　二百七十五

逢坂　二百七十六

猿　二百七十七

蝶の涼しき　秋の暑日面もくらしの内
白桃の花ちるとき　秋くれの後
秋の四季見の内　ちるちる　かたらぬ　ちるさま　三百五十
ちらく　あらそふ　七百五十　海士　人偏　海士　海士　海士　海士
海士　海士　海士　海士　海士　海士

未母 おもと 三百 完 二百 一 熟 一 一 一 荒 字 五 あらし 西

油 一 油 一 當 もとう 三百 田 節 ちう

やけり 一 天 滝 下 二百 あぶらとる 亀 能れ

糖 二 芋 原 二 能 能

化 字 二 集 字 三

足 一 一 腸 面 足 二 能 能

七百 足 能 二百 能 能

化 て 三 あまり 二百 乃 字 二 集 字 三

五月雨 さつきあめ 物 乃 一 猿 さる

ちびしゃく 二 ちびしゃく 西 ちびしゃく 乃 ちびしゃく 能 ちびしゃく 三 ちびしゃく 能

櫻 さくら 一名 乃 櫻 化 の 能 一 家 櫻 居所

大櫻 せ 櫻人 さくらびと 櫻 西 櫻町 中納

言 櫻 乃 櫻 櫻 乃 櫻 櫻 乃 櫻

楊梅 楊貝ようばい 楊ようばい 楊麻 楊乃盤 楊川 楊井

楊乃庵 ちめ

ちら 一反義さ 一反人義さ 一反義さ 拍あんさら 一反人義さ

仔付 馬糞乃草本 墨木 墨木 佐保姫乃衣

さ安さ男鹿 小さく小さく

双林寺 盃乃ひろう 坂 坂義文 坂義文

早苗

うく拾 沢 二名行五一沢山八沢ヨリ言ヲ
拾ヲ之 山乃宮貝ヲ拾ヲ拾ヲ拾ヲ
さこ山へ 宮貝ヲ拾ヲ
ちく浪や大波乃文 ちく秋 さこれ 表ヲ家
さ秋ちくさ 月ヲ
酒 一名一名酒 酒臺ヲ
五月 月ヲ
指乃字 戸月 月ヲ
さひ子ヲ
月ヲ
月ヲ
月

[illegible]

雜乃字四 在マ 一里に三百ヵ所 三昧 [illegible] 三百さ

きはう 二百 侍 一人 [illegible] 坂 [illegible]

樣 [illegible] 四 一神乃皿 坂乃字 三百ヵ所ハ

ひざの皿

宮代字四 崎 二百 所二 柳 [illegible]

き

蓁 一名ヒノキ [illegible] 紙 [illegible]

[illegible] 紙 [illegible]

[illegible] 紙 [illegible]

[

霧ハ
霧ハ
霧ハ

ゆうべ　夕べ　二夕　夕方　夕日　夕暮　夕やけ　夕やみ　夕立　夕涼み　夕月　夕月夜　夕川　夕顔　夕ぐれ　夕ぐれ　夕ぐれ

乃ゆく　名ゆく　ゆく　名乃ゆく　名行の字三句まで
実二名ゆく　月ゆく　白張　芝ゆく　白張ハ行ゆく　幸ゆく　二名ゆく
名ゆく　行末　二行末三ゆく　指　二ゆのと　名ゆく　昭衣一帷　ゆく
一ゆく　遣言　一遣戒遣　ゆく　二　宮先　一ゆく　ゆく　二ゆく　面と指
む一　表紙一
ゆく　一所　遠夷　一表傳　ゆく　譲三　湯　一条湯　湯　佳
紙一　ゆく　二句　立三温泉一
来　一ゆハ行て不来　ゆく　ゆく　ゆく　ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく
付て　面と指し　後　一ゆく　一ゆのゆ　ゆ　ゆ　一　絵ハ白
面と指し　ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく
一　ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく
唱食　席布ハ二句　様　一ゆく　百合二衣
名ゆく

硫黄　一硫ハ名ゆく　実ハ名ゆく　柚　一柚ハ名ゆく　柚の木　柚の木　油煙　一油
名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく
名ゆく　行　二名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく　名ゆく
名ゆく　名ゆく　

う　人間　利　一尺　二百文　同じ面　一巻　北斗面の古字

鍔　刀の一　名人　上品　二百文　めぐる　七百文　順　八三百文　姪　人偏　めう

ゐる方乃めく　天文人偏のう　やや　七百文　めぐる　一めそ一　尺ふ若　めちと

人偏くゐしれ人廣　めと　乳　乳母　茉字不詳　同出　殺　同の字　三百文

出れ字　三百文　同じ　めりくれ　北斗懐中　同じ　めるよ　九の字

付て　面　一尺のめん　北斗懐中　眼　義　一尺　北斗義

二百文　きて　乃つま乃　乳

三百文　めるしう　名所

ゑ

加　二枚　北斗　ゑ　ゑ付て　ゑ　ゑ　ゑ　義　虫　銀　八銭　義　北斗義　岑　二百文　北斗金

北斗面と　ゑ　乃れる　根　根　面　岳　尾

ゑ　ゑ　ゑ　

[illegible]

三字假名 七句

御 ちんでん

五句 同

三吉野 三熊野所の

字二句 みぞれ

[illegible]

南みか [illegible] 三れ人 [illegible]

三句 御稜 [illegible]

[illegible]

[illegible]

御 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

七月九日ニ三井寺ニ詣ル

思ひやる　碧家　遠く　三井寺

一名所八七名　都　水地　牧　みくま

二名　逸　簑　水地　みとだる

今ハ　菅　みとだる

一名　御陵　墓　来綿　湖

三瀬川　御幸　一名　行　三井寺

水地　壬　飛乃宮　四耳　眉引

高く同　月星　早くり

二名　おとなし

美　高ばり　水高ばり　本ばり　緑乃宮

て二葉一　日雨　塩　生家　鹿

の国名川　雨乃宮　塩一やきしほ　水地ハ　鹿の

ハ雨ハ　塩　水地ハ　生家

お帝乃　乃お　乃水　乃水　生家

乃お　乃水　乃水　生家

もが　乃　乃水　生家

し　鹿名所　七名　鹿　鹿四の内

麻の蘭（ツノ）　麻毛の筆ト麻枝ニ麻茎ニモ云ヘリ

秋下りて　みやまをとこ　山男

下草（ヒロ）　下萩　下草　下草

下紐（ヒモ）　下紐　七夕

待ちおうしみ

草枕

車

ーー　ーー　ーー

道

白尾鷹（タカ）

苔菜（ヒヤクリヤク）

清水（シミ）

[illegible]付白紙水面と接く[illegible]
[illegible]三百[illegible]三百[illegible]一[illegible]
故障上 物価 [illegible]とり 一百[illegible]
[illegible]
[illegible]

芋 二ちゝ 一ぬ青一 ちとね 二ぬ 表分 ちげき 三ちゝ 可付但俗名祈り

蒟蒻 一ちゝ 折ち姫 汁 一脇ぬけ一雷 饅頭 一ぬ名ちゝ 汁 衣 れ

青瓢 一ちゝ 碁 一孫ぎ 碁七名ちゝ 死乃字四

ちんき 一病乃名 衣 衣 汁金 一ぬ名面 おもかご

白河笑 笑 笑 笑 笑 十億 衣 京

滴 二ちゝ 三 君 一ちゝ ちゝれば 二ぬ三 代 代月

師匠 一人修 燭臺 一長名 行所 霜 四ちゝ

月 月乃表八 月乃表八 表 表 表

ゑ

絵あり〻草木 此松おゝそれくさまの物 右衛門 此人傷 笑

燒火 此故 恵比寿 并 紙面分内ゝ多 撥乃 此人 殺 爽八秋 繪 一ゑ

一名所一 衣紋 ゝ 一ゑ 一ゑび勝ゝ 一ゑび

ゑ 此人傷 ゑびす 一ゑび多老代 ゑびす

国 此人傷 ゑびす 猟 一人傷 ゑ 碎 一舟の魚ゝ多

と一国碎人傷ゝ

氷室 一ゑ ゑ 此ゑ 此ゑ 此

かくこう日乃暑日秋日ひとつ乃日眼日らくく日
のくくるる日只今日よくやくやくやくやくやく
ゆくゆく 同 傭 日次乃日人偏くくくく
本日光宣の三句 老乃濁 表意同同
二句くくくく
ゆくゆく 意こゆく 乃尺くくの日こゆく 光乃字 同日星よりむこ
意こゆく 意こゆく 意こゆく 光流よりくくくく
意こゆく 意こゆく 意こゆく 意こゆく
意こゆく 意こゆく 意こゆく 意こゆく

ひとりこゆく 同くくくく 句作くくくく 久蟄 久の字くくくく
天子くくくく

時 二ヒヤサケ 冷酒 秋ノ冷食ハ雅 膝 二ヒタ 靴 一ヒサヒヒ 羊木ノ革 廣 ヒロキ 廣 西ヒ 月 ヒ 茅 ヒ

同ノ 旱 ヒリ 二 白ヒ 人 ヒト 同 正月七日ノ人ハ人偏ヨ 被 ヒク 裳 人ヒト 食 ヒシ 冬ノ恋懐ヨリ

ひそう 一 秘 ヒサウ 蔵 一ヒ〻付 ひ ヒ 冬 ヒ 冬 ヒ 冬ノ恋懐ヨリ

サヒ〻不苦 ヒ 二 白ヒ 益 ヒ 益ヨ 重ヒ一日 中ヒ 裏 ヒウラ 奥 ク 一ヒ 第一 ひ ヒ ヒ ヨ 白ヒ

額 ヒタ 一岸ノ ヒ 翠 ヒ 翠 ヒ 四ノ 長 ヒ 長ハ四長法ハ ヒ 二白ヒ ヒ 長ヨハ 長 ヒ 付

ヒ 一 ヒ 老 ヒ 老 ヒ 人偏ヒ 人偏ヒ 武 ヒ 武ハ ヒ 時ヒ 長 ヒ 不 ヒ 病 ヒ 人 ヒト

ヒ 一 ヒ 茅ヒ 付 百 ヒ 百性 人偏ヒ 武ハ ヒ 武ハ ヒ 人偏ヨリ ヒ 百性ト ヒ

櫨 一ヒ 茅ノ母ハ ヒ 一ヒ 櫨 一ヒ 蛭 一ヒ 蛭ノ小 ヒ 一ヒ 一ヒ

櫨ハ植物ヨ 格 ヒ 格 ヒ 蛭ノ小 ヒ 一ヒ 一ヒ

屏 ヒ 屏 ヒ 風 一風ヨ 白ヒ 旱 ヒリ 一ヒ 日 ヒ 義 ヒ 義ヨ ヒ 藤 西ヒ

可 ヒタ 直 ヒタ 意 ヒシ 衣ヒ 付 人 ヒト 同 ヒ 同ヨリ 実 ヒ 尾 ヒ 尾 ヒ 尾ヒ

獄 ヒ 一ヒ 領 ヒ 巾 ヒシ 一ヒ 領 ヒ 領ヒ 巾 ヒシ 一ヒ 一ヒ 一ヒ 一ヒ

ヒ 白ヒ 丙 ヒ 丙 ヒ 丁 ヒ 日ヒ 丁 ヒ 丁ヒ 丁ヒ 丁ヒ 丁ヒ 丁ヒ

ヒ 白ヒ 白ヒ 白ヒ 白ヒ 白ヒ 白ヒ

う ヒ 行 ヒ 不 ヒ ひ ヒ ね ヒ 付 ヒ ひ ヒ ひ ヒ ひ ヒ ひ ヒ

業 ヒ 提 ヒ 琴 ヒ 琴 ヒ 一ヒ 琴 ヒ 一ヒ

いつ ヒ ま ヒ ま ヒ 白ヒ

物と七百もん三百五十の百文入て五百文

紅葉一みまのあれ三十

紅葉橋四の内之紅葉赤くしんしたる

紅葉の葉一葉二

紅葉の葉一葉

紅葉の葉一葉

紅葉の葉一葉

望月汁 扶面千寸 百合 [illegible] 蓮 [illegible]

出 [illegible] 松茸 [illegible] 玄蕃 [illegible]

[illegible]

[illegible] 人 [illegible] もろく 二月 [illegible] 吹

とい[illegible] 詞 持二 [illegible] 戻 一 [illegible] 寺 [illegible]

同代 非人 伸 松茸 [illegible] もづく [illegible]

[illegible] 元来 [illegible] もろく 請白

[illegible] 白 [illegible] 月 [illegible] 月十五夜 [illegible] 主水 [illegible]

[illegible] 桃 [illegible] 桃 [illegible] 蕨 [illegible]

[illegible] 持二 [illegible] もとろう [illegible] 胡桃 [illegible] [illegible]

帽子 [illegible] もてあそ [illegible] 茶 [illegible] 当 [illegible]

[illegible] 末綿 [illegible] 巴 [illegible]

[illegible] 毛氈 [illegible] 味噌 [illegible]

もぬ [illegible] もぐさ [illegible]

[illegible] りくさ [illegible]

てまつるハ　股をたく　股たく　門跡　尺表　屠ハ字也

ろさ二

せ

瀬　二ぞ　陳　地名　荊　二蜘　帝　二

帝倉　あくたせちハ　ちくハ　伝ハ　帝ハ　関　一ハ所ハ二表

ちくん　東一区上西堂白殿付てらてし　実越ハ　実屋　実の戸

ちくん　夢ハ　ハ　ハ　所

ハ二　せく　二ぞ　せく　ハ　ハ二

ハ去　せく　ハ　ハ二

せん　せる　せる　せる　洗濯　別の

西すくハ　折　撫　表訓　実見　ハ　義仗　残

三ハ　ハ　ハ二　ハ　ハ　ハ　ハ

せん　目　脇　一わ　ハ　ハ　ハ

せめて　二字　一焼　尺義　せきぐ　一ぢうつこうん　面と居眷属足揚こハ
二字去　さとりの弟　さとりの二字を焼きあみ高みを　成敗　ゆうとやゆるゆ居人と
もよ　聖代　一ひぢり一帝を焼きあみ高みを　梅檀　一ゆうち亮
二字去　聖天の面と言ふ如ゆり　八支実ハ
縁　仏洞　一ほとけ殿の洞み　節操　人間ゆ者こと
ゆり　ほりれ洞わ焼こ　の善ゆ世ゆ
海戸　一ほとけの燈　射　一せうゆう　一ぜん　一ぜんてうの一　一ぜん
宣下　一院宣ホ　政道　一まつり　禅　二字を受縁ハ言る
ゆこと　ゆこと　ゆこと　ゆこと
折言　一ぢん一誓　善　二えんりうてき　せひる　せめて　ひ
願寺　ひろて　二教

勢揃　大勢　出人数　剣　二字ゆ　制ゆ不二ゆ　せげ　尺義　焼亡　一火ゆ
面縁　焼亡
ゆ

ゆ

ゆゆゆゆゆゆ　蚊　二字　蚊虫　二字　蚊　二字　蚊帳　二字　以上三
ゆゆゆゆゆゆ　ゆゆゆゆゆゆ

広 ひろし 廣乃字 硯 一硯屏 石ぞうの硯 硯の字 北麻 北麻 北麻字 北麻郡 北麻 北麻 北麻

深袖 由 楷 四
貝 則 二 節 四半 煙 軟 一 煤 一
蓋 二 遠堰 居
鍬 一 鋤 一 鎌 一 鉈 一 鋸 一 鑿 一 鑪 一 鑢 一 鑷 二 数珠 二 鍋 一 鍋 一 鍋 一

○ 假名遣大秘

一中乃えと素手　中とゆとよとをとをとを

越　清　岡　経　潰

笑　燃　肥　金

一かと様とをとかるのへ　素字はをとをとをとをとを様と様と様と

ちかい　塩　ちゆり　庵　かい　新　いとは　数　うるわしい　潤

一弾乃と素手　少しはなるともも様のもと

とぶ○　小舟　をとこま　をとこ　小山　をとり　寒かる

をとこ島　小鳥　をゞー　小樽　をの　小野　をとこれ　袖　小三袖　をとこる　小車

一物乃字はいづまも陸のと成へし

おのと　斧わと　貸れと　きの人を

一と変字はいづまも陸乃をそ

をしかと　をしてる　とまする　れわれれと

一物乃字はいづまも陸のをそ

とろ丑　陸のとし　阪しまと　とち川　とちの川

とり代者と　いづまも奥代れわそ変り

一とのま　とのづく　とのの字く　そはうへし

一とうう天　丑氏れわと　とり陸のをそ

一とん中に陸のをれとと奥ちれと

一奥乃れ書中　大の字はいづまもれくのお成へし

れりと大丑　ちの字と　大男　れわと　尾　れわちと　ちの

れわと山大島　おの字と　大阪　長井川　大井川　長井川のおうへし

一尾の字はいづまも奥代れるうへし

をのく　丑　山とりれのちとりお

一門乃字はいづまも奥乃れうへし

おつまし　おりしめし　おりんとき　これ氏

一陸のくと表中　ちのくとき　ちのくとき　ちのくとき　ちのくとき

おりふし　ねぶふ　乳　ひとふし　言
ぬげふ　義　はらふ　遠　ひとふし　洗
たぐふ　乳　あしふ　洗
たうふ　拂　たがふ　違　たうふ　落　ちくふ　書
ちくふ　遠　たくふ　假　ふるふ　伴　ふるふ　荷
いくふ　祝　とるふ　唱　うふ　添　さそふ　傳
あふ　相　うるふ　叶　ゐるふ　狂　うやまふ　敬
もとふ　敷　ひろふ　搖　ひろふ　誇　ひふ　向
きまふ　嘉　えふ　碎　ひろふ　偽
ちふ　遣　ちふ　隨　ちふ　白

まふ　洗　きふ　繰　ゆふ　表
たくみに作りもの
りきふ　矣　くふ　養　おしまる　支　うまふ　鼓
うるふ　飯　まはる　鳴　わふ　子　ちのふ　調
さくふ　栄　うゑ　植　ちゑ　義　ちふ　加
世かわるべしひ文　ひとかうふ五氏の姓よ婦の人出る
此ほとまはしたてもかたやあ奥氏多やかてハまきてきこ
ふ　ひとふ　よかあるひとも　ちふ　きふ　人　ひとて　濃素　ものハ
湯のくまりともべし

一奥ものとゝ以書事

しゐ　ゑ　すゑ　あ　ゆゑ　ゐ　家

うゑの　ゑ　ゑの　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

太れくの名かく事わまくとあり

一端乃いをゝ以書事　此れ端のいをゝ下に加へ

かいのねさめ　ひさい　らいさい　たいゑ　おいく　さいく

一中れをを書事　なまくとれかゝる所に一ゑくとむ八ゑれの所へ加へ

うゑ　たゝゐ　うゑ井　うゑかゝり　ゑゑ

ゑれゑ　ゑゑ　ゑゑ　ゑゑ　ゑゑ

よゑ　きゑる　ゑる井　ゑゑまゝ　此れゑゑ

一うれ字ゝ以書事　下れゑゑ

そゝ　俺　ゑゝ　緒　せゝかゝ　燒青　ゑゝ　芸房

ゑゝ　ゑゝ　同道　ゑゝく　中く　ゑゝ　ゑゝ　ゑゝ　ゑゝ

ゑゝ　ゑゝ　備　出ゝし　樂　ゑゝ　ゑゝ　ゑゝ　ゑゝ

右ゑゑゑむ字ゝ以下とうと後い大ゑゝ字ゝ以下調ゝ後

ゑれうとゑゑ字ゝゑれ字ゝとうと後ゑゝ以ゑて後字ゝ

うれうゑゑゑゑ

一ひ乃字とうれうゑゑむ事　ロとうゑて後字ゝうれゑゑ

ひまんかな　ひまんかな　ひとこゑ　ひとこゑ
むめ　むま　うぐひすもひまなく
一ようかう之字はよまずとも　蘭をうら　雞はとりなり
飛鳥を飛とも　芝蘭とも　一地たちうたたぐと云
一ようんだうはうまうとも云
右はかれこれをもつて俳名打ケ　字の寄りわるきをもつて
はぐらはしはやはの奥ひやはぐるりかーしらをもつて
手もわるくありうるく考へし唯俳名選ぶ拳一隅
已ケ条に準ずべし

漢和式

一　第唱句之事

第唱句とは発句の事なり国乃字を除きて脇の句は韻字を定めたるべ
必有鄰花見
少句乃鄰の字は詩謡纍乃韵の字なり花の
字は麻乃韵なれ乎字なり此二ツ乃字を除きて
何れも韻なれども脇乃句は韵字を定めず但一文
句ごとに韻字をもつて俳諧を作べ

あゝて甚かましかるべし

㊁ 二四不同之事

●●○○●●○○●●○○

上乃句●○平起○●●是平起ゟ此對句ハ広
ツイ●●広起●○勢ゟ起ゟ之式法ゟ上乃句
上乃句○●広起●○●付句面ハ同ク広起ゟ法也
ツイ●○平起●○●○又此對句ハ平起ゟすべ
き角上乃句と下乃句ゟ始ハ起を遠て上下共
句と上乃句ゟ對ハ同ク起ゟ也

㊅漢和一座法式之事

面ハ句乃内漢字句和字句也面の内對二所
ゟ之ゟ乃ゟ對ゟ不苦

漢和乃時ハ面の八句め和ゟ漢乃時ハ八句め
漢ゟ和ゟ句もかゝ式ゟ

面八句乃内紫門乃句可禁 第四ゟ第八ゟ奥義載之 但
茅唱句ハ者別乃ゟ也

百句乃内漢五十句和五十句ゟ漢ゟ
和ゟ二三句ゟ漢ゟハ多ゟ

花雪月乃内漢二句和の方二句
月和漢ゟ三句五句漢ゟ
雪五ツ漢ゟ五ゟ

二句あるはいづれ一句ばかりとなる事なり
て出るは和漢共に一句なるべし
五句去三句去乃物はまことに韻字なれば
ばかりなり物はばかりなるべし
韻乃字三つ

通龍番月夜

番乃字え悪痕ふてはいと難ハシ誹ハクるかと
ありしに猶ありいさむとよむ時ハ歌乃韻ありて
聲ハ也故悪痕ハ韻よりかるべし故に用ひて不苦

韻外字ハ三乃字よりかるべし
漢句和句共に五句まで淡くべし但漢乃句對ま
至ては古句ばかりてもかるべし和乃句ハ五句と
混りとなる

夢想乃漢句ばかりに付句も漢ふまべし七言式文句
ばかりに七言ハ對まとべし長句ハ五言ありても
かるべしかの搭会常式俳諧同ふ也

疊字ハ躍字乃一座ま八句まで二つかるべし故ま
同一面を嫌ふ也上中下と重所をもかるべし

假名書ハ一座一〻ニ〻ク

漢和乃ハ句ハ発端ノ字ニ〻ク第四句ハ四ノ平字

乃韻を除きて外乃韻字ハ脇乃句ハ韻字ハ

ナシ

和漢ニ和乃句ハ韻字と始まず是も和ハ発句

内乃中字を除きて脇乃句ハ韻字と字ハ

乃方ハ韻字ハ絶とゆゑ也

静韻ハ(和字俳諧の字也)常ハ俳諧ハ下乃句毎ハ韻字とせて

ゆゑ也是ニ発句乃内ハ平字を除きて脇乃韻と

ニ〻ハ字ハ別ニ〻ク

(七) 對句之次第

八十二門乃内乾坤と時候と對ス　寒暖と食服

と対ハ用ハ態藝と虚実も一ツハ用ル

但態藝乃中ハ軽〻して虚実ハ重ル字乃

又虚実乃中ハ強〻して態藝ハ重ル字乃

ゆゑ也

ゆゑ也

人倫ハ字ハ二形門乃中ハ有とハ人〻ニ〻と別ハ擇出

用ル〻ニ　虫魚鳥獣等乃生類と人倫とを勞と

對りをくうゝぶ

合掌（ガッショウ）對（ツイ）として悪きなり是い兩乃くきと合ゐるやうに付ると角ゐを嫌うりたくなく天ニ地有ゑ寒暖長短大ニ小善ニ悪めゑ乃れなり

或人曰合掌對いうゐ物ぞ裏作意とゆ

むゑて曰たくゝぶ裏等唱句ゐ

蠏（ワカヲ）鱆（ヒラ）朱（アケ）茄（ナス）

是り合掌對して

增（ヌカ）鯖（サバ）青（アヲキヲ）蓼（タデ）饅

唱句ゑ論語陽貨乃篇り惡紫之奪（シノヒキノウバフ）朱也ゆ紫ゐ紫ゐ也ゆ紫ゐ紫ゐ也ゆ紫ゐ紫ゐ

鬢蓮一先ヲ草　籠

芋魚より出来る汁ハ食物籠ハ美味也

加様ハ有家ハ此句俳諧ハ五字八間二字かぢくれたる

間ハ有て作所ハ五字八間二字かぢくれたる

もとゝも一句ハ仕ようきを幸とし次べし　俳句

ども一句ハ仕ようくべ合掌対とい雅ハ有べ

八　俳句書之事

中華ハ張九成日本乃いろはを書史會要ニ載

り故ハ往古より用ひまわり対句ハ多し

たとへば月をつき山をやき亀をいろをかくれるり

春日ハくかのごとし　ひや俳諧ハ用ひざるんや一集

ある有りしし　俳句がきの文字ハ右に記す

辻堂　白驟　林

ミる　と茂　助

テン　て　宗　因

辻堂乃白壁林ハ乱れ雨ハ巡礼ハ蔵寺

ある句作ハ有ハ　所俳句ハ対きゝ

俳諧の一體あり

九 連綿字之事

連綿字ハ冠ノ篇ノ偏ノ下ノ共同ノ字ノ類

乾坤ノ字ハ　磨廉　埴塲　囹圄　滕騰

紵宙　気形ノ字ハ　鳧鷖　蛤蜊　鴛鴦　猿猴

麒麟　鳳凰　支躰ノ字ハ　髕髀　髑髏　丁膽　眼瞼

肺脾　鬢髮　態藝ノ字ハ　骨骸　眄娜　蹂躪　慇懃　徘徊

齟齬　生植ノ字ハ　桔梗　芝蓉　枇杷　菖蒲　蒲萄

食服ノ字ハ　枇杷　裲襠　袈裟　醴酪　饂飩

篤財ノ字ハ　琴瑟　舵艢　幣帛　柄枘　蓬篠

右連綿字ハ連綿字ノ別ニ尤ノ類ノ大ノ所ノ如ク

十二物之事

是へ別るゝ物と二つとせて連續するとゝり譬へ

乾坤 陰陽
雨露 春秋
星霜 山林
気形 亀鶴
犬鶏 龍虎
狐狸 燕鳥
客顔 頭頂 眉目
心肝 手足
態藝 皮膚

生還 生植 生来 孤雁
松菊 蘭蕙 榛栗 桃李 柳竹
食服 酒茶 滋羅 酒肉
錦繡 着核
金銀 甲冑 弓矢 刀杖 筆硯

この外何程も有へし麦ふへ大畧を求るり

十三物之事

貪嚢癡　儒釈道　過現来　衆口意
天地人　智仁勇　やうれ詠めまくこうへし

㊀底返りのうた

底返りといふことみ下を表にして返すべしと下
ふ人多くさとる人も
贈古　勤学　満池　納涼　無心　宥経
やうれ類とかくのごとく句ごとに底返りよ
字ごとに対とへし対句調ととのへ底返りて対とせ
又唱句返りてよみ多る底返りて対とせ

可し此字は類のまくさのうへしに門のうちに二と字のこと

㊁朱引之事

朱引とは人乃名書物乃名年号官位
これら也人乃名ゆ人は名所乃名国乃名ゆ
くま対とへし平仄とへわりて云ひて字対とす
つくとへす尤字対とくへ形仮すべり人は名辞へ
山谷　この五東坂これ二字なる乾坤門の字なり
思生とわくまに赤人これは黒と赤は光彩門の字主
と人とは気形門乃字なるれ注付ひ上形は対とり

子諸う顔閑ハ張と閑しハ乾坤門の字にて対と
もともとハ三形門顔ハ支離門おそ山二字対と成
ともに朱川ける故対とる時改よ頼朝なるの類も
是ようて知るべし但唐人乃名と日本人の名と対と
へ成ハ中谷ハ道風ハ字ハ乾坤門にて字ハ張
対とれるも谷ハ唐人道風ハ日本人なれば乃
顔芳ハ対とべし対とすべし名所年号等も同意
所乃名ハ上野ハ近江松浦と篠原とれる字
対して上巻に知るる高雄三山八幡なども

字ハ別せられるも朱川故対よ今一かく成

朱川狂哥

右所中公ハ所のたまへ寄乃朱川とかるて多人
二り川中乃朱川ハ物の年た二ハ年号そし

(十四)文字用ハ梅乃事

鶯ハ香乃字かるてとむ山ふれん生植ハ
分香髪ハ用分ハ梅ハ髪ハ生なるも芳ハ字か
うたてとのひハ虚押ふしてかうと音り
月もそ花乃ありて生植ハ梅かる

とうむるわく虚押をなる也音は用ゆ時八生
植なる茂 蕪乃字八類も同ゆ 囲 音は
用きそうるひらかりて乾坤おなる用 嶽
幽乃字も多り 詩乃字詩を作ゆるれを用
字なり 詩文詩書乃字り用ひて八某成ゆる
文書章乃字も同意く 桐字きりとよみて
生植なりゆくしよみて八意賊乃り 梧の字を
同ゆ琴乃字なる八狂此類乃字なる歌と
乾坤と乾形と通用乃字

月 星虹 霓 雷
乾坤と忘賊通用乃字
軒 扉門戸 榊 瓦 甍 将 碑 林 石
厦 炭 楯 棚
乾坤と支躰と通用の字
趾 牙 気 夢 角
乾坤と気移通用八字
日 月 星 電 露 煙 煤
乾坤と態藝と通用乃字

夢中封居處　虛空渡泥堆載

代遠近上下　內外前後表裏

乾坤と生植と通用

林　菀森　筍

氣形と態藝と通用

雄　漁樵　牧

氣形と文辭と通用

羽　翼　鱗　翰　角　毛

氣形と光彩と通用

月月星　鳥　皇　心　免　皇　心　鷺　月　工　螢

氣形と黍財と通用

貝　蠙　蠣

氣形と人倫と通用

雄　漁　鰥　獨　孤

人倫と態藝と通用

賢　愚　樵　漁　盜　賊　伦　將　衆　老　若

角　佗　雄　勇　侶

文辭と態藝と通用

華 虧情 智 瘡 病 盲 瘖

生植と紊財と通用

葉 茶 茗 香 熟 藥 栄 薪

生植と光彩と通用

紅 羣 緑 紫

紊財と態藝と通用

權 緣 朽 飾 詩 文 章 歌 惡

紊紡と光彩とかめる字

丹 朱 金 銀 曇 玉 碧 粉 錦 黛 畫

白 簿 泥

光彩と態藝兼る字

清 淺 濃 濁 染 然 薄 泥

数量と態藝と通用

重 皆 分 長 短 多 少 細 同 諸 数

幾 雙

右如此文字 稍貴人是 対句之 塗 多 時 可 用 二

(十五) 假名書乃文字 八半

月と都 嚏 又 禾 訃 雲と 祢 岡 風と 加 前 雨と下 禾

霜と評儲　雪と攸計　夜と掬唐　露と吉利　山と夜漫
水と明東　珠と儻賞　筆と分直　墨と蘇弥　絹とぢ可
硯と松蘇利　頭を加是羅　手と擬　酒をば嬉　杉と松計
松と埜止　酒盞を晒加藤計　強盗を加賀鼻隨
此類乃かゞかき不可勝計一ツ

(十五)　漢之句四季文字事

○春

賜芳　乃ちの義紅　日上　教気　義紅　獲痕　乃ちの
蹭昔　乃ちの義紅　日上　芳草　乃ちの　賜赤誌

晴嘯　乃ちの晴れ方に　寫雨　乃ちの　鳥雨　乃ちの　発　乃ちの　山如　乃ちの　山如　乃ちの　山如　乃ちの　日上
春村酒　酒を酒村りハ　少とり植を　花信風　花の開ひとしを　禽嘯　碎　乃ちの　春張　乃ちの
日上り雪　乃ちの　花脚足　脚乃ちの　護己鳥　花を護る　花有約　花ハ乃ちの　肅気　乃ちの　桃酔　乃ちの
梨雲　日白乃ちの　紅意　梅小字　ひとしを字　乃ちの　緑情　紅意ハ花の乃ち緑情ハ　赤花の後形緑の情

梅花暦　山中に医師なしてそう閑人四時もちいす
梅花の開をもって春を暦とする

春一番　春の風早くこゝろ成春のやうなること

春色　春の色はほのぼのとあるなり

餞春　春の暮はなごりをしむなり

鶯餞　日上人

○夏

清和　四月八日釈尊誕生の日

緑陰夏　夏のこゝろ

梅天　四五月を云

花冨貫　牡丹を云

迎梅雨　四月の終り

新緑　夏山のみどりを云

十三紅　十三日は花ざかりなり

緑勝花　みどりは花にまさるなり

山如滴　山のみどりをしたゝるが如しと云

蕉書出　芭蕉の葉に書のごとし

荷盛盃　荷葉を盃にたとへ

霖　五月雨なり

梅雨　梅の実熟する時なり

緑蔭　夏の木陰のみどりなり

南薰　南より来る風なり夏の南風

暑　炎熱　三伏なり

驅暑　馬を追ふごとし

早霖　夏ひでりの時節

炎塵　炎乃あつき気とりなり

涼書　夏の天気より物の涼しきを云

暑如醉　あつき人のえ

炎天埃張　炎天埃張のごとし

暑埃塵　同上

炎天会合　あつき雲

風解暑　あつき時風吹いてとけるごとし

秋近期　夏は末門のこゝろ秋の手くるごとし

○秋

初涼　秋の涼

新涼　秋なり

金気　秋乃季西八月

搖翻葉　五葉乃日ごとに落葉するなり

搬殘暑　暑さを殘すの初乃風

黄雀風　雀の羽の色乃風

梧雨　きりぎりすの雨のふるごとし

金雨　秋の雨　葉語　秋風のうらくを人の語るなり　桐涼　桐相乃すゝ　きれのうら

素景　秋の景を　秋八白と云　疎柳　秋風より柳まれて　柳乃かさと云　楓錦　りくちの

紅樹　同上　黄落雨　木乃葉の音の雨に似たる　山容瘦　草木乃葉落て山乃

かたちやせたるなり　雁雲　天の雁わたれ　寒砧　うそさむこさに　冷秋　秋なり

○冬

枯葉　葉乃枯なり　凍蝶　さむさ時　凍鶴　こゝろ　燒葉　葉を焼て

炉筆　筆こゝろ　おきあ　炉内　凍雲　雪天乃　弓月　弓乃

こゝかまり　肩瞳　寒さ時　敲凍硯　こゝろ

短景　冬乃日乃　敷炭　すゝとやこる　鈞雷　敲雪寺

寺　探毒　毒ある　驚蟄　虫乃

歳　大晦日乃夜と　春信　春乃

歳云暮　除の年の

○雑

雲龍友　あひたこう　金石友　かなつ　変せぬ友なり

詩肺海　肺ある人の　遊仙枕　枕をまくら　竹樓　竹ゝ

雲似蓋　雲乃ゝ

紅旭 紅日あり 紅衣 酒乃紅乃字へ赤藤よ 紅女 物を織女を云紅乃字へ赤藤よ

山岡屋 山のうらくようつくきの 是回 古くより有てかからぬ和へ

鈎深 書をうつしてつくさ 黒胡夢 ゆるねの 蜘室窟 くもつめ

くくお 彩雲人のうつ 彩雲 雲まよ 湖似鏡 水出海の面晴て

さ家く 舞姫 雪 風まよ かみよ他ろ

歌欵乃 舟哥 灯底 とも一次の 客 旅よ 一葉舟 舟より

帰 漂泊 ゆくの字 船長く 錦字 錦字 御簾葉 簾葉 私詩 義

班姫怨 思ひ乗りめく 吾妻 ゆめ利 浮跡 出所 幽所 ゆ氏類

禅定 錫 ゆ氏の字 釈尾 ○右ゆ類不許孫平一他準之

大尾

跋

簾只行亭ゆ人筆まに云あ山め幸ゆを

清書ゆくをいまゆとゆ名よめくてゆ

かへゆるよん達乃按さへあへ数量手ホ

於紫乃ちゆくいさゆ口伝ゆ今云

俳風ゆるよおそくあんちゆもゆ

ゆうまに私ゆうくきるゆめあへ

跋

恋のかなしさの出とゝ
此一帖のうくつくまゝとあるゝめん事よ
ゝとのあるとうあきくうに亀とそふ和及

露吹庵
和及

元禄十年丁丑孟春穀旦

新井彌兵衛

改板をゝはんの跋

誹式之祖宗長頭翁之嫡門良徳之末
良保孫々ゝ正統和及傳へ常矩より
和及竹亭五師ゝ爲年ゝ
亀林と若法寺ゝ紙ゝもはるゝふ
世ゝ勢ちのきふゝ
又国を家くゝ式書唐風ゝて
五変段刻ゝ新井氏の家よ
ゝて世久ゝきも絶ゝ亡ひさる

の道ゆゑ人倫の大なる所の義
知れるも迹をしるるもなれや

嘉永五稿　石壽庵
暮雪

安永十年辛巳正月

京東高瀬西面上ル町
書林　俵屋清兵衛

京都
書林　横田耕價堂蔵板目録　東高瀬西面上ル町　俵屋清兵衛

四書集註　道春点　十
同　京極版　十
名物六帖　東涯先生著　十六
人事箋　器財箋　人品箋　出來
續編追々出来
古文後集　片カナ付　二
唐詩財　二
呂氏春秋
雑字類篇　栄夏穀　二
學語篇　大典禪師　二
倭節用集悉皆囊　全
俣野通尚補　季鷹縣主図
節用安不多しとなれども此集は浜字を仮名ゐひと云字を加へ日用重宝を集めてまことに日本の大字典なり
増学百信　増加節用集　まち字百信分小変
此集は文字八十三頁余をまし加倶字をまし一まち字を付国郡に村里の名まで
ゐくあつまる実用なり

字彙節用悉皆蔵　全
此集八四職の人々肝要の文字を拾ひ侯字を出し一まとめとなし下に二字の訓を載せ
もろ〳〵の重宝のるとをあらわす

新選早字引　小本　全
けさの引ハ世ふあるもの書をあらそひて一字の書ようを引ハ世ふあるもの書をあらそひて

新明暦雜書天文堂　全
けさ三世相大ゝみハ人名二代の吉凶月〻日〻の善悪其外のもろ〳〵千一切吉凶この書ふ
りゝ〳〵支なし

山州名跡志　廿一

山城名勝志　図十五枚箱入　廿二

都名所圖會　秋里籬島　六
拾遺都名所圖會　全　五
此書ハ京都　禁裏の御あらゝ洛
洛外名所古跡社仏寺山水花月貴賤の
宅舎ふるゝまで洩さず図ふゝ〳〵行後
を秋〳〵名家の住居を本ゝ京師の名
所を考る人書ふゝ〳〵行へし

花洛細見圖　折本　十五

都寺社全圖　月　四

繪本都のあらら　二

同　京名所記　全

紙園清水名所　全

寺社物語　六

京縮案内引州　小本　全

繪本倭比事　西川祐信　十

山水畫典　三

画圖黒手　三

麁筆画譜　三

丹青錦嚢　六

謡訓蒙図會　中村近子　横字国画　十

都名所車　懐中　小本　全

都細見圖　折本　全

親鸞大師二十四輩順拝圖會　五
同　後扁　五
此書ハ上人廿五ヶ年の間小国を遍歴
なさひ〳〵廿四ヶ所の御旧跡の縁起なひ
ら化のふしきをのゝ名所古跡七ヶ
のたひとゝまて志しるす宋の人
ハ〳〵ゝ法文人一筆なるそかゝ〳〵し

北地陳家語記　小本　全

同　叭陳記　月　全

同　繪号　折本　全

同　乃中紀　全

源平盛衰記図會 秋里籬島 六

誹諧 [illegible] 巻 [illegible] 序 二

同 於遺 文石発句入 全

同 曉山集

狂歌 [illegible]

心學書目

貴上先生糠俵 一

同 後篇 二

同 續篇 一名 [illegible] 二

同 安永伝受 三

かるめくさ 二

うり竹ばる 二

みくのふつち 二

松翁ものがたり言 一

御代の恵 一

桑みくさ 二

民の教昌 五

鬼ハ外 一

ものうり哥 一

夜話荘子 二

吸ものさま 一

ユ夫のまな 二

安楽問道 一

梅育州 二

身体粧立 二

孝経童子訓 一

金のなるくさ 二

[illegible] 二

冥運出世の伝受 二

家内安全の伝受 一

[illegible] 二

結付てもうしかけ　東風　うつかこ　客人の客先の客乃客
付合きく　客ふり
うつり　一　末枯下　関　変ふり　北東分　小鳥渡　枯
同合の小ふること
ふり八雑て　新しく生ず別同　昆布　一　水きく　くろ　ふ　ふ　ふ